



〒304-0204 茨城県古河市丘里11-3
 0280-98-3370(代)
<https://www.kyosan-denki.co.jp/>

中山 久美子さんの場合

PERSON

チームで共に 考え、成長し 信頼される存在に



DATA

【主な仕事】
技術職

社内のネットワークやシステムの中でも、技術にかかわるシステムを担当しています。

ユーザーの声に対し、チームで協力して対応するようにしています。

Check

会社を知る人事担当者へ
 インタビュー

「未来をみつめ世界に学び新しい価値の創造を通じて人々の幸福と豊かな社会づくりに貢献する」を経営理念に、ニーズに応えるものづくりをする京三電機。

取材を終えて



出産・子育てと仕事を両立し、安心して働くことができました。企業だと感じました。
 茨城大学 鈴木 真由さん



充実した環境が社員のモチベーション向上に繋がっています。
 茨城大学 内田 麻佳さん



経営トップのメッセージを汲み
 ダイバーシティに向けて前進



人事部
 西島 千聡さん

会社見学会を実施。「昇進や昇格で女性に下駄をはかせせることはない」と西島さんは話します。

女性が十分な経験を身に付けられる環境が整っている証でもありません。今後の課題はライブイベントの多い女性のモチベーションをいかに高め、就労定着を図るかということ。ダイバーシティ実現に向けて前進しています。

仕事と家庭の両立をして ステップアップする理系女子

京

三電機の情報企画部で係長を務める中山さん。働きながら、17才と12才のお子さんの子育てをしています。仕事以外の時間は、家族と過ごす時間を大切に、家族がそろつと日帰り旅行や外食でリフレッシュをするそうです。

仕事との両立について振り返ると「子どもが小さい頃が大変でした」と話します。育児休暇明けは、仕事との時間調整に苦戦し、自分のペースをつかむのが大変だったそうです。特に子どもが病気を熱を出したとき、仕事を休むことで職場に迷惑がかかることを心配し、実家の協力をえたことで乗り切りました。

女性活躍のヨコがスゴイ!

- 01 復職前後の面談制度の充実
- 02 ワーク・ライフ・バランス 支援休暇
- 03 独自の 出産休暇

育児休業復職前後に計3回の面談を実施。復職前では、生活環境や労働条件、活用可能な仕事と子育ての両立支援制度を確認。復職後のフォロー面談では復職者に寄り添い、悩み等の解決をサポートします。

最大60日間積み立て休暇が可能であり、そのうち20日間は疾病、健康診断、子どもの学校行事に利用できます。

配偶者が出産した男性社員は、産後8週間の間に3日間、任意で休暇取得が可能。以前は3日間連続での取得が決まっていたが、社員のニーズをくみ取り、分散での取得が可能になりました。



〒304-0033 茨城県古河市中央町1-8-32
0280-22-0226(代)
http://hotelsansui.co.jp/

PERSON

半田 真樹子さんの場合

スキルアップで 仕事をもっと 好きになる



Check

会社を知る人事担当者へ
インタビュー

北 関東の小京都とも呼ばれる古河で、昭和22年に旅館として創業し、今年で71年という茨城でも歴史ある宿「ホテル山水」。宿泊やレストランのほか、会社の商談やお祝

い事やご法事、結納、などに利用されています。「わたしたちの業界は、男女共同参画の最たるもの。女性が活躍してもらわないとダメ」と話す高橋さん。フロントから各部屋に至るまで、おもてなしの心が満載。客人を出迎える花は女将をはじめ女性スタッフが生けたものになっています。24時間、人が動いているホテル。時

DATA

【主な仕事】
フロント

ホテル山水の顔として、客人を最初にもてなす受付業務。お客様とのコミュニケーションを取りながら旅所との連携に気を配り、快適なホテルステイを提供しています。



笑顔がステキな半田さん。フロント業務ひとすじ20年という実績で、チェックインのお客様にも好評です。

取材を終えて



お客様へのおもてなしの心が多くの方から愛されているのだと感じた。

筑波学院大学 篠原 鈴音さん



外観と街並みが組み合わせられて、風情を感じました。

筑波学院大学 蒲生 実紅さん

お客様への心遣い 社会貢献をモットーに

古

河出身の半田さんは、ホテル山水に20年務めるベテランスタッフ。「最初は興味があるぐらいの仕事だった」と振り返る半田さん。しかし、仕事を続けるうちに大きなやりがいになりました。「ホテル山水に入れてよかった」と笑顔で話します。

様々な勤務環境はあるホテル業界において、半田さんは日々15時〜22時で勤務しています。そのため「午前の時間を楽しんでいます」とのこと。仕事前には、習字の展覧会に出向いたりするなど時間をうまく活用してリフレッシュしているそうです。また月2回の女将が指導する華

道のお稽古にも積極的に参加。仕事から多くを学び、習字や華道は仕事から趣味に変化しているそうです。仕事に対して心掛けていることは、身だしなみあいさつ、言葉遣いはもちろん、何よりも「お客様のことを第一に考えること」。リピーターのお客様が多いことから、お客様の特徴を覚えることを心がけているそうです。「仕事をしていて、一般の企業に入っているとは思えなかった体験ができています」と話す半田さん。おもてなしという究極の仕事にやりがいを見出し、さらなるステップアップを目指しています。

真面目に、ひたすら、
一生懸命



女将
高橋 采子さん

間帯により働き方も変わるため、仕事内容(清掃や配膳など)によっては女性が働きやすいというメリットも。「利休の七則」を大切にしている高橋さん。「毎日毎日、健康で楽しく働ける職場環境づくり」を目指し、女性ならではの気配りで働く人を輝かせています。

女性活躍のココがスゴい!

- 01 生け花でおもてなしの心を育む
- 02 多様な雇用制度で選択幅拡大
- 03 子育てに配慮した休暇取得を推奨

女将が中心となり月2回女性スタッフのみで生け花のお稽古を実施。花の心を学び、おもてなしに生かしているそう。実際に生けた花はリアルに部屋へ飾っています。

24時間稼働しているホテル。9:00〜15:00など主婦でも働けるような多様なシフト。各時間で役割も決まっているなかから選ぶことが可能です。

子育て中は土日に休暇をとれるよう配慮したシフト体制にしています。また、子育て後に職場へ戻りやすい環境も整備しているそうです。



〒305-8510 茨城県つくば市西大橋599-1
029-850-1850(代)
https://www.kasumi.co.jp/

山崎 真弓さんの場合

PERSON

全力で頑張るも大事!けどメリハリも!



DATA

【主な仕事】
トレーニングスクール
デリカインストラクター
社内のインストラクターとして、デリカにおける新卒新入社員の教育から現場のパート担当。また、海外技能実習生教育担当として取り組んでいます。



目標に向かって行動変化を柔軟に対応できる人材として社内で高い評価を受けている山崎さん。インストラクターとしても多くの従業員からの信頼を得ています。

取材を終えて



子育て支援が充実していて女性が働きやすい。
筑波学院大学 篠原 鈴音さん



従業員さんの仲がよく雰囲気がとても良い。
筑波学院大学 蒲生 実紅さん

Check

会社を知る人事担当者へインタビュー

地 域にはそれぞれの食べ方や風習の文化があり、「その特性を生かし、No.1ベストな状態にしていくなか、私たちのやり方」というカスミ。小売業は一人では完結できない仕事

であり、16歳の学生アルバイトから65歳のシニアスタッフまで、幅広いスタッフ層でお店作りを展開。「誇り」に思えるチームを作るために、「食卓」を通して心の豊かさを満たせるチームを作るために、「ホスピタリティ」あふれるチームを作るために、「地域」の発展とともに歩んでいくチームをつくるために、という4つのスローガンを掲げ、日々仕事にまい進しています。



強さや大きさを誇るのではなく、地域の生活にあった企業でありたい



人材育成部 堀 悦子さん

また、地域のお客様から支持される食品スーパーになるために、女性の視点を取り入れられているそうです。「地域の生活者である女性たちの力を生かすことは、売り手も買い手も満足することに繋がる」と話す堀さん。社内でも女性が働きやすい環境づくりとキャリアアップのサポートを推進し、働きがいを実感できる企業へ成長し続けています。

何事にもチャレンジ精神 人生もステップアップ!

今

から14年ほど前、食に興味があり、食に関する仕事がしたいと思った山崎さん。様々な業界で就職活動をするうちにカスミの企業説明会へ参加。お話を聞いていくうちにお客様と直に接することができるとはスーパーマーケットならではの特権だと感じたそうです。「スーパーであれば毎日多くのお客様と接することができ、なおかつ食に関する仕事ができるのでは」と思ったことがきっかけと話します。

現在、3人の子ともがいる山崎さん。仕事前には保育園や学校へとお子さんの通園・通学準備を行い、仕事から帰ると家事が待っていて常に

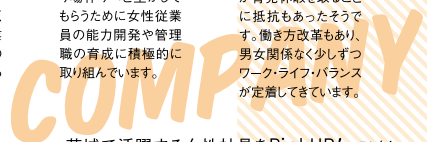
女性活躍のヨコがすごい!

- 01 子育てにやさしい企業
- 02 キャリアアップをサポート!
- 03 男性の育児休暇取得促進

「次世代育児支援対策推進法」に基づき子育てしやすい環境づくりに成果のあった企業として、県内で4企業のみが持つプラチナくるみに認定されました。

女性の持つ感性を売り場作りへと生かしてもらうために女性従業員の能力開発や管理職の育成に積極的に取り組んでいます。

小売業の中では男性が育児休暇を取るとす。働き方改革もあり、男女関係なく少しずつワーク・ライフ・バランスが定着してきています。





〒305-0817 茨城県つくば市研究学園7-49-4
029-854-4130(代)
http://www.katsurafudosan.com

PERSON

永野 奈美さんの場合

即、行動!
「明日でいいや」は
絶対にダメ。



Check

会社を知る人事担当者へ
インタビュー

遡 ること48年前に、荒川沖で落花生の加工を始めたことをきっかけで誕生した桂不動産。現在、茨城県南エリア、千葉県東葛エリアを

DATA

【主な仕事】

営業アシスタント

営業社員のサポートや管理、また、オーナーさんへの報告など。人手が足りないときにはお客様の接客や不動産の案内も行っていきます。



桂不動産賃貸部つくば竹園支店で営業アシスタントとして働いている永野さん。店舗スタッフからの信頼も厚く、安心して仕事も任せられると大評判。

取材を終えて



笑顔と丁寧な対応が素敵な、雰囲気の良い場所でした。
筑波学院大学 石塚 留菜さん



働く人もいきいき!色んな相談や不安を解決してくれそう。
筑波学院大学 西村 瑠夏さん

含めて全14の支店を展開しています。そんな桂不動産では、スタッフの対応力を大切にしています。不動産会社を訪れるお客様は、様々な人生の節目を迎えている方がほとんど。そんなお客様への知識と経験を生かすことで安心を届けています。また、今はインターネット等で誰でも情報を得られる時代、お客様と不動産

住まい探しを明るく照らす
賃貸女子として活躍中!

不

不動産は努力をすればするほど成果が上がる。お客様に納得していただけて契約が取れるともう嬉しくて。常に狙っていた異性をゲットするような気持ちよさ!と語る永野さん。学生時代にした不動産関連のアルバイト経験から、大学卒業後に不動産業界へ就職。しかし、いざ就職すると、専門的な知識の不足を感じ、つまづきを感じたそうです。そこで、「経験は後からついてくるけど、知識をつけられるのは今だけだ!」と退職し、専門学校へ通うことを決意。卒業後に結婚し、HPPで見つけた「賃貸女子活躍中!」の言葉に目を奪われ、昨年桂

不動産に転職したそうです。「子供を育てつつ、社会で活躍したい!」そう考えていた永野さんは現在、賃貸女子として、5歳と2歳のお子さんを育てるママとして、不動産業と母親業を両立しています。

そんな永野さんの仕事に対する基本姿勢は「なんでもすぐやること」で、「明日でいいや」は絶対にしない!と決めているそう。「先延ばしにしても良いことはない」ときっぱり。お客様から頼み事をされた際も、「後で、調べます」ではなく「今、調べます」。お客様に対しては真摯な姿勢で接しています。母と社会人、全てに全力投球。日々を楽しみ、永野さんの姿は強く美しく、輝いています。

産業者の情報格差が少ない中で、わたしたちは家族同様の親身な対応力を、物件の相談や賃貸の仲介に発揮しています。特に女性目線のアドバイスは説得力があるため、物件選びで女性スタッフが活躍中。今後はお客様へより専門的なアドバイスが出来る専門部署を作るなどの展開を考えています。



プロとしての責任と誇りや
親身な対応で地域の方々に
貢献します



人事担当
宮川 知之さん

女性活躍のココがスゴい!

- 01 準正社員 制度的積極的採用
フルタイム勤務が難しい、子育てや介護するスタッフを対象にした就業制度。正社員と同様に社会保険や賞与があり、勤務時間は6時間以上から選択可能です。
- 02 復職のしやすい社内環境
復職する女性が多く、会社側も、一度働いてくれた方は即戦力になるため歓迎しています。
- 03 パースデーアフター5
社員アンケートの要望からできた制度で、自分や家族の誕生日前後一週間は定時より1時間早く帰宅することが可能。大切な家族との時間を過ごすために誕生しました。



〒305-0032 茨城県つくば市竹園1-7
029-859-1111(代)
https://www.tsukubabank.co.jp/

Check

会社を知る人事担当者へインタビュー

茨 茨城県を主な営業基盤とした地方銀行として2010年(平成22年)3月に誕生し、今年で9年目を迎える筑波銀行。「First Call Bank」を目指し、個

人・法人のお客様に幅広い金融商品のご提案を行っています。そのため、行員達の意識は高く、コース転換制度の実施や行員自身が講師となるインプティングセミナーへの自主参加など、自己研鑽する姿が見られます。また、仕事と私生活の両立を目指す制度も充実。男性行員の育児休暇取得、復職に向けた支援として育休中でも銀行の情報が閲覧でき



お客様が最初に相談したい「First Call Bank」を目指しています



人事部 小池 真緒さん

尾崎 裕子さんの場合 **PERSON**
お客様視点で行動
全ての仕事に
誠意で取り組む



DATA

【主な仕事】
外訪係担当

担当エリア内の個人宅や企業を訪問し、会話をすることでニーズを発掘し、最適な商品の提案・案内を行っています。



お客様の視点に立ち、お客様がどんなことを求めているのかを真剣に考えることが窓口業務時代からの課題。限られた時間の中で効率良く仕事出来るかを意識しています。

取材を終えて



色々な制度があって、仕事も私生活も充実できそう!
早稲田大学 中村 友香さん



「誠」意を持って、「二つ」の仕事で社会貢献をモットーに
お客様への心遣い

人・法人のお客様に幅広い金融商品のご提案を行っています。そのため、行員達の意識は高く、コース転換制度の実施や行員自身が講師となるインプティングセミナーへの自主参加など、自己研鑽する姿が見られます。また、仕事と私生活の両立を目指す制度も充実。男性行員の育児休暇取得、復職に向けた支援として育休中でも銀行の情報が閲覧でき

尾崎さんは、県内外の店舗で多種多様な業務を経験したキャリアを持っています。現在は、営業職として活躍し外訪活動を行っています。当初は女性ということで驚かれることもありましたが、明るく元気な対応で信頼されるようになったといいます。筑波銀行での15年のキャリアのなかで、自身も結婚・出産を経験し、職場復帰直前講習制度や休暇制度を利用しながら、子育てと仕事の両立に挑戦してきたそうです。実際、尾崎さんは、育児だけでなく仕事にも精力的です。筑波銀行

女性活躍のヨコがスゴイ!

- 01 次世代育成支援も充実
子育て支援制度の水準の高さが厚生労働省に認められ、北関東初の「プラチナくるみん」を取得しています。
- 02 休暇制度でリフレッシュ
有給消化も積極的。また、シーズン休暇、マイプラン休暇、アニバーサリー休暇などの多様な休暇があります。
- 03 女性活躍推進PTを開催
月に一度程度、様々な年齢立場の女性行員が集まり、女性目線で業務や制度の改善案について話し合っています。

茨城で活躍する女性社員をPickUP! 別-16

では一般職、エリア総合職、総合職という3種類のキャリアコースがあり、入行2年目以降はコース転換することが可能です。キャリアを重ねるうちに「金融知識を知っている行員になりたい」と考えた尾崎さんは支店長の「サポートするから挑戦してみろ」という一言に背中を押され、2年前に一般職からエリア総合職へとコース変更し現在に至ります。

何事にも熱心な尾崎さんは「今は女性も社会で活躍し、輝ける時代。今一生懸命取り組んでいることが何らかの形で返ってくると思うので、今しかできないことを頑張っ、色々な経験を積んで、素敵な社会人になっってください!」と、私たちに力強い一言をくれました。